

内閣総理大臣表彰 他	1
支援事業利用者の声 他	2
産後パパ育児取得者の声 他	3
活動報告	4.5.6

令和5年度「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」受賞 2023.6.27(火)

本学ダイバーシティ推進本部長 男女共同参画推進室の松浦恵子室長が、令和5年度「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。松浦室長は総理大臣官邸で行われた表彰式に出席し、他の受賞者10名とともに、岸田文雄内閣総理大臣から表彰状を授与されました。

この賞は、大分県男女共同参画審議会委員として、また、大分市や由布市の男女共同参画審議会会長として、施策の充実や目標の設定に尽力したこと等により、大分県から推薦されて、今回の受賞に至りました。



岸田総理と受賞者の皆様

■ 松浦恵子室長から受賞コメント



受賞した松浦室長

このたびは栄誉ある表彰をいただき、誠に光栄に存じます。大変ありがたく、また驚きましたが、おそらく2010年から取り組んだ大学での男女共同参画に加えて、自治体や医師会、企業等との連携が形になってきたことを評価してくださったのだと思います。周りの方々からのご指導やご支援無しには、何一つなし得なかったことばかりですので、これまでの全ての活動に対し、代表として表彰されたように感じています。関係各位に深く感謝申し上げます。

令和5年6月、官邸へは大分県アイネスの方々のご同行くださいました。初めての官邸そして首相からの表彰と、夢のような時間でした。何より一緒に表彰された方々と、短い時間でしたがお話しできて、これまでの苦勞が報われたようだ、皆様本当に喜んでおられたのが印象的でした。

これを機に、思いも新たに、学内外の皆様とさらなるダイバーシティ推進に努めて参ります。今後ともご指導ご支援のほどお願いいたします。

春季学会派遣支援を受けた工学研究科の女性大学院生 研究室グループ代表で「論文奨励賞」授与

工学研究科 金丸真子さん

■ 工学研究科 金丸真子さんのコメント



工学研究科 金丸真子さん



受賞式の様子

私は昨年度「大学院進学奨励金」を利用させていただき、また今年度「春季学会派遣支援」の助成を受けて、令和5年6月22日～23日に東京都立大学南大沢キャンパスで開催された第32回日本オゾン協会年次研究講演会に参加いたしました。

私の所属している「放電プラズマ研究室」では産業活動から排出される人体・環境に悪影響を及ぼす残留性有機汚染物質を含む水の処理が可能な「大気圧放電プラズマ」を用いた次世代水処理装置の開発を行っています。

今回参加した学会では、新たな装置を設計し、その装置の詳細と処理特性についての報告を行いました。質疑応答では専門の先生方から開発した装置についての質問や助言を多くいただくことができ、今後の装置の改良に繋がる良い経験となりました。またこの学会で、昨年発表した論文が表彰され、著者を代表して表彰式で賞状を会長よりいただき、大変光栄でした。学会発表は大学院生として貴重な経験となり、今後への励みにもなりました。関係者の皆様に感謝しています。

学会派遣支援・女性研究者研究費支援を受けた研究者

■ 医学部感染予防医学講座 技術専門職員 佐知望美さん

私は2016年度から、ケモカインを標的とした自己免疫疾患の研究に取り組んでおります。初めは研究費を得ることが出来ず、学会参加も苦勞しておりましたが、学会派遣支援のおかげで学会に参加でき研究の理解を深めることが出来ました。

2020年度には科研費を獲得し、2022年度にはケモカインCCL20の多発性硬化症での役割に関する論文を国際誌に投稿しました。英語論文投稿支援にも助けられ、無事に掲載されました。この論文にて学位を取得することができ、これまでのご支援がキャリアアップに繋がったと感じております。

2023年度には学会派遣支援と女性研究者支援で、CCL20の炎症性腸疾患とCCL9の多発性硬化症についての研究へご支援いただきましたが、これらのご支援のおかげでさらに民間の研究助成金をいただくことが出来ました。私のような教員以外の研究者も、男女共同参画推進室や大学の皆様のご理解により、研究できることに深く感謝すると共に、このような多職種への支援が、大学の研究環境の多様性に繋がるよう、今後も精進して参りたいと存じます。



学会で発表する佐知望美さん

第13回中塚医学賞受賞/研究サポーター事業の支援を受けた研究者

2023年11月15日(水)、第13回中塚医学賞(大分大学医学部研究者表彰)の表彰式及び受賞者セミナーが行われました。中塚医学賞は、年1回、大学の開学記念日に合わせて、過去2年間に本学医学部において顕著な研究業績を残した研究者を表彰するものです。今年度、前期研究サポーター事業の支援を受けた分子病理学講座 塚本善之先生が生命科学・医学専門分野に選ばれました。



今年度受賞者の皆様

■ 〈受賞コメント〉 分子病理学講座 塚本善之先生



受賞者セミナーで発表する
塚本善之先生

今回、第13回中塚医学賞をいただくことができました。自分たちの研究をこのような形で評価していただき嬉しく思います。私は抗がん剤の効果予測法を開発し、がん個別化医療に役立てることを目的として研究に取り組んでいます。研究のために安定した実験時間の確保が必要でしたが、外部助成金申請書や論文の作成、大学院生や学内外連携研究者との打ち合わせ、講義などもあり、継続して時間をつくるのが難しい状況でした。また、子どもとの時間も大切にしたいと考え、研究サポーター事業に申請しました。サポーターさんは実験を理解し、丁寧に確認しながら取り組んでくれたので、安心してお願いすることができました。おかげさまで実験を継続しながらデスクワークにも取り組むことができ、今年度の外部助成金2件と論文3報という成果につながりました。感謝申し上げます。業務や子育ての中でも安定した研究成果が必要な研究者に心強い制度だと思います。

医学部女性教授の会

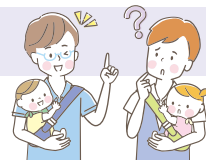
2024.3.6(水)

令和5年度の「医学部女性教授の会」を開催しました。この会は医学部の女性教授により構成され、定期的に意見交換をするものです。今年度は看護学科、先進医療科学科、医学科の女性教授10名が集まりました。はじめに看護学科の井手教授、吉岩教授のご退職のお祝いをしました。井手教授は大分大学で男女共同参画推進が始まった当初からご指導頂きました。また吉岩教授は看護学教育と臨床を両立してこられました。その後、「医学部女性教授を増やすには」というテーマでのトークセッションが続きました。教授だけでなく管理職への登用が必要ではないか、教授に昇任するための研究支援も大切、長期的には学生の研究マインドの育成等も重要、次世代の育成のため学科や職階の垣根を越えた女性教員の意見交換会が有益、といった貴重な意見が多く出されました。



後列左から 末弘先生、脇先生、加藤先生、清村先生、松浦先生、花田先生
前列左から 三重野先生、吉岩先生、井手先生、原田先生

出生時育児休業(産後パパ育休)を取得した男性研究者の声



現在1歳の子を持つパパをしている教員です。初めての子育てということで約10カ月間の育児休業を取得させて頂けたおかげでかけがえのない時間を過ごすことが出来ました。取得の際には関係者の皆様のご理解とご協力を頂き、講義や学内委員などについては他の教員に代わりをお願いできました。

もう一つ重要な業務として卒業研究の指導がありましたが、幸いなことに、新しい育児休業の制度では休業期間を分割することが可能となったため、年明けに一時的に復帰して研究指導を行いました。育児休業はその趣旨から休業期間中は出勤することができないそうですが、新しい制度のおかげで自分の指導学生の集大成を見届けることができました。わたしの場合は上記のように分割取得を利用しましたが、どうしても自身で対応した方が良い業務がある場合に分割取得を利用できることはとても有益であると感じました。

補足となりますが、上記では一時的に復帰と書いておりますが、例えば科研費における研究の中断という感じではなく、1回目の育児休業の期間はあらかじめ決める必要がありましたので、申請前に関係部署にご確認いただければと思います。(理工学部教員)

OAB大分朝日放送“もっと！”テーマ「男性の育児休業」に松浦室長が出演

2023.12.8(金)

松浦室長は、「男性の育児休暇取得を増やすためには、企業等の意識改革だけでなく、社会全体で意識や構造の変化が必要。共働き世帯が増え、女性の活躍を推進しないと日本経済は成り立たない。少子化問題の解決は“男性の育休取得”が第一歩。」と述べました。



OAB 大分朝日放送“もっと！”より

オープンキャンパス2023同時開催「女性研究者と語ろう」

2023.7.28(金)
7.29(土)

旦野原キャンパスで4年ぶりに対面で開催しました。大分大学の女性大学院生が自身の研究や学生生活についてポスターで紹介し、訪れた高校生の質問に答えました。2日間で高校生、保護者、高校教員を含め111名の来場者がありました。「大学の学部名としてしか知らなかったことが、実際どんなものかを知ることができて興味を持てた。進路決定の経緯なども参考になった。参加して良かった。」という声がありました。



会場の様子

大学開放イベントで「女性研究者の学会派遣 報告展示」

2023.11.5(日)

大学開放イベント「“きらやかな女性研究者—こんな研究しています”学会派遣 報告展示」を実施しました。4年ぶりの開催でした。学会派遣支援を受けた女性大学院生5名、女性研究者4名によるポスター展示を行いました。小学生、中学生、高校生の他、地域の方々が訪れ、行っている研究等について女性研究者が直接説明するなどし、交流を深めました。来場者は113人でした。「女性の活躍を見ることができて良かった。」という声がありました。

会場の様子



旦野原キャンパスFAB交流会

2023.8.23(水)

ダイバーシティ推進本部棟休養室にて、旦野原キャンパスの新任女性研究者との懇談会を開催しました。松浦室長から、当室の事業について説明があり、城戸照子副室長、大下晴美副室長の挨拶の後、意見交換を行いました。県外から初めて大分に来られた方、九州も初めてという方もおり、風土の違いに驚いたというエピソード話をはじめ、様々な情報共有がなされました。もっとたくさんの女性研究者の方と知り合える場があると良い、という声もあがりました。



後列左から、大下先生、松浦先生、城戸先生
前列左から、増田先生、前田先生、河村先生、朝美先生、松谷先生

ダイバーシティ入門

後学期全学共通科目「ダイバーシティ入門」を開講しました。今年度の授業内容は講義一覧のとおりです。今回はLGBTQ+や、障がい者に関する外部講師もお招きし、多様な視点からダイバーシティについて学びました。授業の締めくくりとして、後半はグループワークを実施しました。5つのグループに分かれ、それぞれ3つの課題から1つを担当し、課題に対するプレゼンテーションとポスター作成を行いました。今回は「LGBTQ+や障がい者のための支援策を拡大するためには?」という課題を新たに設け、「女性の管理職を増やすには?」、「学生が応募してくれる会社になってもらうためには?」という課題について取り組みました。最終日のグループ発表では、外部講師や、協力機関の企業の方なども審査に加わっていただき、優秀賞、ポスター賞の授与がありました。審査員から「どのグループも良く調査されていた。たくさんの気づきを行動にしていってほしい。」という言葉いただきました。



優秀賞受賞グループと講義担当の松浦先生・大下先生

2023年度 後学期 全学共通科目「ダイバーシティ入門」一覧

	日付	授業名	授業講師
1	10月4日	オリエンテーション+最近のニュースからダイバーシティの問題を考えよう	大下晴美(医)
2	10月11日	世界の多様性から学ぶこと	あまべ文化研究所 代表 岩佐礼子氏
3	10月18日	多様な性、多様な生き方を考える	大分県人権教育・啓発推進協議会 講師 三重野真美氏
4	10月25日	障がい者とともに働く	大分県福祉保健部 障害者社会参加推進室 河野佳祐氏
5	11月1日	「女性学」と「男性学」	城戸照子(経済)
6	11月8日	これってありますか? 誰もが働きやすい職場を目指して	大分労働局労働基準部 賃金室長補佐 田口嘉久氏
7	11月15日	私のキャリアを通じて伝えられること	ニッコン㈱代表取締役社長 佐藤宝恵氏
8	11月29日	ダイバーシティ・マネジメントと企業戦略	渡邊博子(経済)
9	12月6日	男女共同参画社会に向けた大分県の女性活躍推進の取組等	大分県消費生活・男女共同参画プラザ女性活躍推進監 樋口佳子氏/社会保険労務士 篠原文司氏
10	12月13日	キャリアを考える	堤 紀子(理工)
11	12月20日	グループワーク:(1)オリエンテーション	大下晴美(医)
12	1月10日	グループワーク:(2)	城戸照子(経済)
13	1月17日	グループワーク:(3)	城戸照子(経済)
14	1月24日	グループワーク:(4)	城戸照子(経済)
15	1月31日	グループ発表 最終審査	大下晴美(医)



ポスター賞受賞グループの発表の様子

大分大学入門

前学期教養教育科目

(対象学年:1年生)

講師:松浦室長「ダイバーシティを学ぼう」(オンデマンド形式で実施)

キャリア形成入門

後学期全学共通科目(対象学年:1年生)

講師:理工学部 石川雄一先生、経済学部 渡邊博子先生
「企業におけるダイバーシティ&インクルージョンについて」(オンデマンド形式で実施)

出前型のダイバーシティ入門講義

大分県立佐伯鶴城高等学校(佐伯市) 2023.10.3(火)

大分県立佐伯鶴城高等学校の高校1年生・学年保護者集会で“出前型ダイバーシティ入門講義”を行いました。参加者は男女生徒187名、保護者・教員122名でした。今回は、理工学部の石川雄一先生、教育学部の前田菜摘先生、工学研究科の大学院生 一色由貴乃さん、佐藤理子さんが講義を行いました。この他、松浦室長と大下副室長による“Q&A動画”も放映しました。出前講義終了後、希望者による座談会を行いました。



座談会参加の皆さん



会場:さいき城山桜ホール

日本文理大学附属高等学校(佐伯市) 2023.12.19(火)

日本文理大学附属高等学校理科室で、今年度も、おおいた地域連携プラットフォーム主催の、地域人材創出部会 進学率向上ワーキンググループ 日本文理大学附属高校 特別授業—「女子中高生の理系進路選択支援プログラム“ダイバーシティを知ろう!!リケイを知ろう!”」が開催されました(参加者:1年普通科 特別進学コース・進学コース37名)。大分大学ダイバーシティ推進本部 男女共同参画推進室から、理工学部 石川雄一先生が「理系進学とキャリアの話」、大下副室長が「ダイバーシティ入門」の講義を行いました。



講義の様子

ダイバーシティセミナー 60名参加 ※オンライン開催

2024.3.7(木)

萩原なつ子氏(国立女性教育会館理事長)を講師に迎え、「令和時代の大学をデザインするー男女共同参画&ダイバーシティの視点から」との演題でダイバーシティセミナーを開催しました。歴史的な背景や具体的な事例を挙げた上で、ダイバーシティがなぜ必要なのか、エクイティ&インクルージョンへの意識変革の重要性などを、分かりやすくお話いただきました。

【受講者アンケートから】

- ・萩原先生のお話は大変わかりやすく面白かったので、また何度もお話を伺いたいと思いました。
- ・今更ですが、家庭科の話を納得しました。積み重ねで今日があることが理解できましたし、お話がリズムよく、分かりやすくて助かりました。
- ・EqualityとEquityの違いの話が分かりやすく大変勉強になりました。



萩原なつ子氏

理工学部 of JST 事業“女子中高生の理系進路選択支援プログラム” 「ダイバーシティについての懇談会」

2023.11.18(土)

今年度、理工学部がJST事業“女子中高生の理系進路選択支援プログラム”(2023年ー2024年)に採択されました。

企画名:「女子中学生から女性開発者へのトランスフォーメーションー科学に「ときめく」女性の持続的育成システム開発ー」。

この事業のひとつ「ダイバーシティについての懇談会」において、松浦室長が「アンコンシャスバイアス」の講義を、大下副室長が「ダイバーシティ入門」の講義を行いました。当日は「のめりこみプログラミング中級編・上級編」(会場:旦野原キャンパス)、「ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)大分テクノロジーセンター工場見学」、「大分県立大分豊府中学校出前講義」があり、これらに参加した中高生とその保護者ら(36名)が受講しました。生徒から「アンコンシャスバイアス」について質問があり、松浦室長から、「“気づかい”と“思い込み”は違う。“気づかい”できることは素晴らしい事。」と回答がありました。



講義の様子(旦野原キャンパス)



質疑応答の様子

大分県 女性人材のネットワークづくり事業“MeLight for her”の対談

2023.12.26(火)

県の事業委託で採択された株式会社ポーラ(東京都)の企画「あなたの“will”で未来への可能性を開く」が、アイネス(大分県消費生活・男女共同参画プラザ)で開催されました。

第一部では、株式会社ポーラ 代表取締役 及川美紀社長の講演があり、第二部で及川社長と松浦室長の対談がありました。及川社長は「[頼る]ことは他人を信頼し承認すること、大切なのは同志の存在、共感しないと共感してもらえない、共感者を探す旅は対話「傾聴」から始まる」と話されました。松浦室長は「常にアンテナを張り、無意識のうちの関心に気づくことが自分の中の“will”に気付くこと、リーダーはサポーターの一人」と話しました。

会は、Where there's a will, there's a way(意志あるところに道は拓ける)という言葉で締められました。約70名の参加がありました。



発言する松浦室長



会場の様子

第5回おおいた女性人財育成プログラム ※オンライン開催(ただし第4回のみ対面開催)

第5回目となる「おおいた女性人財育成プログラム」を実施しました。全4回(1回90分)のプログラムのメインテーマは「脱マンネリズム～自分の殻を脱ぎ捨てて新たな可能性を広げよう～」とし、各回異なる講師を迎えて実施しました。グループワークを中心に、職業も年齢も多様な女性達が、率直に本音で語り合うことによりお互いを刺激し合い、多様な価値観に触れるとともに自分自身を知る機会となりました。また、第4回は、異業種交流会との同時開催とし、より多くの人と意見交換をすることができました。



【受講者アンケートから】

- ・私自身が知らない一面を知ることができたので、有意義な時間になったと思います。自信にもつながりました。
- ・再度、自分自身と向き合うきっかけをいただきました。今後スキルアップできるよう、定期的に向き合い自分を見つめ直したいと感じました。
- ・対話について理解していたつもりですが、「違いを味わう」というワードがとても印象に残りました。また自己紹介というよくあるものですが、こんなに意味深く、深く知る方法があることを知ることができてよかったです。

開催日	講師	テーマ	参加者数
第1回/2023年12月7日(木)	大下 晴美	自己分析を通して自分を見つめ直す	21名
第2回/2023年12月21日(木)	岸 智子	対話の中から考える～伝わる自己紹介とは?～	22名
第3回/2024年1月22日(月)	松浦 恵子	働くうえで大切なこと～意識やバランス～	20名
第4回/2024年2月5日(月)	朝美 淑子 渡邊 博子	新しい出会いの中での気づきと新たな可能性	18名

第10回異業種交流会 30名参加

開催日:2024.2.5(月)

開催場所:J:COMホルトホール大分2階 サテライトキャンパスおおいた講義室

朝美淑子氏(大分大学経済学部講師)が話題提供者となり、異業者交流会を開催しました。

今年度は、「おおいた女性人財育成プログラム」の第4回との同時開催とし、昨年に引き続き対面開催ができたことで、異なる企業や職種、また大学院生が対話を通し、自分を取り巻く環境(仕事や人生)を振り返り、多くの新しい気づきがありました。

【受講者アンケートから】

- ・直接会って異業種と話し合えたことで、さまざまな意見が聞けて新鮮でした。前向きでエネルギーあって、元気をもらえました。同じ課題に当たっても、考え方を変えて捉えてみるといいことも感じました。どの仕事でも、皆さんそれぞれに仕事や家庭など、悩むことがあり、業種を超えて分ち合えたことは有益でした。
- ・参加者、先生方ともにみなさん前向きな方ばかりでとても良い刺激を受けました。様々な業種、職種、年齢、立場であっても同じようなところに共感したり、またまったく新しい視点でお話されていたりと、まさにマンネリ打破のきっかけになったような気がします。今後もぜひこういった異業種交流に参加したいと思います。



会場の様子

スキルアップセミナー 16名参加

開催日:2024.1.30(火)

開催場所:理工学部8号館109講義室

平田誠氏(大分大学理工学部准教授)を講師に迎え、「学会発表ポスター作成のテクニック～図や表を中心に～」と題したセミナーを開催しました。具体的な事例を示してわかりやすく解説がありました。

【受講者アンケートから】

- ・自分のアピールするテクニックや規則原則を熟知した上でアレンジすることが大切である事柄が理解できました。
- ・相手目線での図の見せ方がとても参考になりました。



会場の様子

英語論文投稿支援 3名採択 募集期間:2023.6.1～2024.2.28

女性研究者の研究力向上を図るため、国際的学術誌への論文投稿を促進するために必要な、ネイティブ校正費または論文投稿費について、8万円を上限に補助する事業です。2023年度は、3名の女性研究者へ支援を行いました。

第6回共同研究報告会 12名参加 ※オンライン開催 開催日:2024.2.16(金)

大分大学、大分工業高等専門学校、フドーキン醤油(株)、(株)バズサイクルが共同で行っている女性主役の産学連携共同研究について6回目となる報告会を実施しました。共同研究の進捗状況や成果について研究者より報告がありました。